

次世代医療テクノロジー®およびみらいメディカル®は、アムンディ・ジャパンの登録商標です。

2020年4月30日 現在



モーニングスター アワードファンドオブザイヤー 2019  
国際株式型(グローバル) 部門  
優秀ファンド賞

Morningstar Award “Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的所有権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として独自の定量分析、定性分析に基づき、2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。国際株式型(グローバル)部門は、2019年12月末において当該部門に属するファンド546本の中から選考されました。

動画や臨時レポート等  
最新情報をご覧ください。

スマホでも！

アムンディ・ジャパン株式会社  
「みらいメディカル®」特設サイト  
↓↓今すぐ下記のURLをクリック！  
<https://www.amundi.co.jp/fund/focus/miraimedical.html>

ファンドの概況

基準価額(円)	9,613
純資産総額(億円)	388.3
設定日	2018年7月31日
信託期間	2028年7月14日まで
決算日	原則、1月、7月の各15日 (休業日の場合は翌営業日)

・基準価額は信託報酬控除後です。

資産構成比(実質組入比率)

株式	94.44%
現金等	5.56%
合計	100.00%

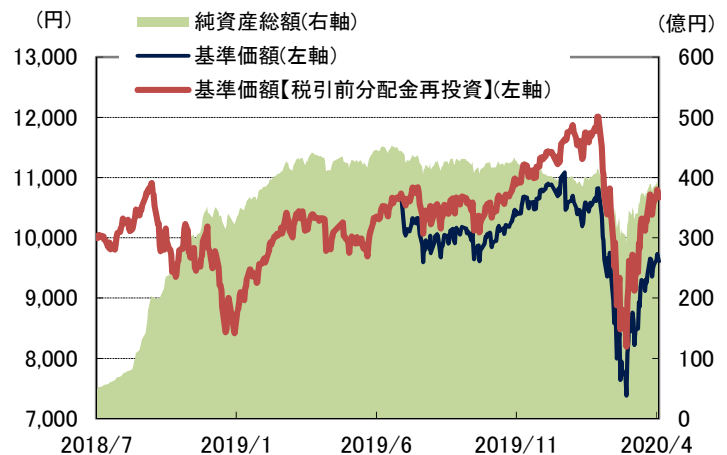
・上記はファンドの純資産総額を100%とし、実質的な組入株式および現金等の比率を表示しています。  
・現金等には未払諸費用等を含みます。

分配実績(1万口当たり、税引前)(直近10期分)

設定来累計		1,100円	
決算日	分配金	決算日	分配金
2019年1月15日	0円	-	-
2019年7月16日	500円	-	-
2020年1月15日	600円	-	-
-	-	-	-
-	-	-	-

・分配金は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。  
・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、または分配金が支払われない場合があります。

設定来の基準価額の推移



・基準価額(税引前分配金再投資)は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬については、後記の「ファンドの費用」をご覧ください。  
・上記グラフは過去の実績であり、将来を示唆または保証するものではありません。

騰落率

期間	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
ファンド	9.78%	-8.08%	-0.32%	5.72%	-	6.68%

・騰落率は、税引前分配金を分配時に再投資したものと計算しています。ファンドの騰落率であり、実際の投資家利回りと異なります。  
・上記数値は過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆または保証するものではありません。

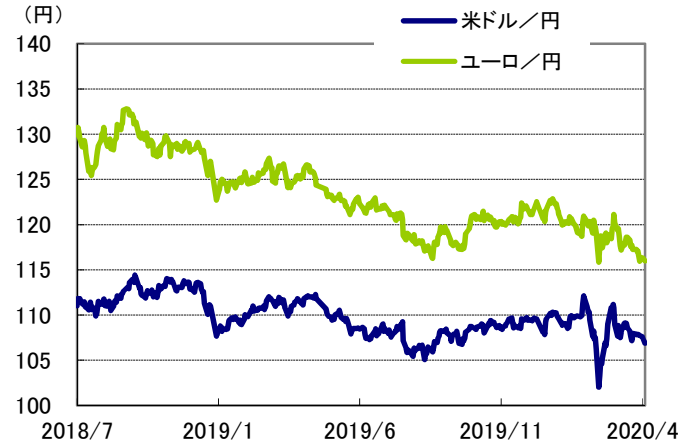
2020年4月30日 現在

基準価額の変動要因

今月末基準価額	9,613円
前月末基準価額	8,757円
分配金	0円
基準価額の変動額	856円
(内価格要因等)	1,031円
(内為替要因)	-160円
(その他)	-15円

- ・基準価額は信託報酬控除後です。
- ・価格要因等は株式等の現地通貨建資産の変動部分を示したものです。
- ・その他は、信託報酬やその他の誤差を含みます。
- ・各項目毎に円未満は四捨五入している為、合計が一致しない場合があります。
- ・上記の要因分解は概算値であり、実際の変動額を正確に説明するものではありません。傾向を把握するための参考値としてご覧ください。

《ご参考》為替レートの推移



・対顧客電信売買相場の仲値

「アムンディ・次世代医療テクノロジー®・マザーファンド」の組入状況(純資産総額比)

組入株式上位10銘柄

組入銘柄数: 55銘柄

順位	銘柄名	国	銘柄概要	比率
1	アボットラボラトリーズ	アメリカ	1888年創業の長い歴史を持つ総合ヘルスケア企業。長期収載品や後発薬の他、診断薬・機器、血管および心疾患治療機器、ニューロモデュレーション機器など開発・製造。	9.43%
2	メトロニック	アメリカ	医療機器セクターで売上高世界最大級の企業。心血管部門、低侵襲性治療技術部門、糖尿病管理部門、疾患症状緩和部門の4分野で治療・診断機器を開発・製造。	9.29%
3	ダナハー	アメリカ	細胞検査・治療用機器を提供するライフサイエンス部門、分析機器、試薬、消耗品、ソフトウェアなどを提供する診断部門のほか、歯科部門、環境部門に展開。	8.16%
4	ベクトン・ディッキンソン	アメリカ	メディカル部門で輸液・注射関連製品、麻酔・呼吸関連消耗品、薬物移送システムなどを開発・製造。ライフサイエンス部門では研究・検査用機器などを手掛ける。	5.56%
5	ストライカー	アメリカ	手術室関連機器・システムに加え、人工股関節や人工ひざ関節、骨接合材料、脊柱疾患の外科的治療用インプラント、脳血管内治療機器などを展開。	4.82%
6	インテュイティブサージカル	アメリカ	安全性が高く患者負担の小さい低侵襲外科手術を実現した手術支援ロボット「ダヴィンチ」と関連装置を開発・製造。	4.47%
7	ポストン・サイエンティフィック	アメリカ	低侵襲性の外科的治療機器などを幅広い領域に展開。心血管や末梢血管疾患領域のほか、不整脈・心不全治療領域、消化器・呼吸器・泌尿器・神経疾患領域などをカバー。	3.82%
8	バクスターインターナショナル	アメリカ	世界で初めて製品化に成功した輸液の技術を核に、透析製品、血液浄化装置、薬剤投与器材、局所止血材などを開発・製造。	3.74%
9	フィリップス	オランダ	21世紀にヘルスケア部門への注力を強め、予防、診断、治療、ホームケアまでの領域をカバー。診断・治療部門では画像診断装置や放射線管理システムなどに強み。	3.18%
10	エドワーズライフサイエンス	アメリカ	世界で初めて人工心臓弁を製品化した弁膜症治療製品のパイオニア。現在は主に外科的弁膜症治療、経カテーテル大動脈弁治療、クリティカルケア領域を研究開発・製造。	3.13%

組入株式上位5通貨

順位	通貨	比率
1	米ドル	76.04%
2	日本円	7.28%
3	ユーロ	5.18%
4	スイスフラン	2.34%
5	デンマーククローネ	2.12%

組入株式上位5カ国

順位	国	比率
1	アメリカ	76.04%
2	日本	7.28%
3	オランダ	3.18%
4	スイス	2.34%
5	デンマーク	2.12%

2020年4月30日 現在

(CPRアセットマネジメント)

## 運用コメント

### 【市場動向】

4月のグローバル株式市場は、一部の国でロックダウン(都市封鎖)解除に向けて気運が徐々に高まる中、米国市場を中心に大幅反発となりました。足元の景気指標は極めて悪いものの、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発期待や低金利と大型経済対策が株価を押し上げました。セクター別では、3月の下落が大きかったエネルギーが急反発し、一般消費財・サービス、素材、情報技術、コミュニケーション・サービス、ヘルスケアなども二桁台の上昇率を記録しました。

### 【運用状況】

医療機器用品関連では、1-3月期の決算が新型コロナウイルスの影響で悪化し、年間の見通しを示すことのできない企業も多かったものの、株価は大きく反発しました。もっとも治療領域や個別銘柄によって反発の強さはかなり違うものとなりました。反発が大きかったのは人工透析や血糖値管理などの慢性疾患治療領域や、診断機器関連の銘柄で、新高値を更新する銘柄もみられました。また、3月の下落が大きかった整形外科関連でも大きく反発する銘柄がみられました。一方、眼科、聴覚機器などでは株価の反発は鈍いものとなりました。

血糖値管理では、グルコース濃度の連続的な監視を可能とするウェアラブル機器の売上げが拡大しているデクコムが新高値を更新しました。同社は4月末に好決算を発表しており、5月からS&P500指数に採用されます。診断機器では中国からの受注が好調で好決算のザルトリウス・ステディム・バイオテックが新高値を更新しました。大型多角銘柄のアボットラボラトリーズやダナハーも堅調でした。ストライカーやジンマー・バイオメットも大きく反発しましたが、これらは3月の下落が大きく、依然として2月末の水準を大きく下回っています。一方、3月に新型コロナウイルス関連として逆行高していた銘柄の一部には4月は株価調整となる銘柄が目立ちました。治療薬として期待されるアビガンを子会社が製造する富士フィルムは、同業による利益寄与がそれほど見込めないことやオフィス機器の見直し悪化で小反落となりました。フィッシャー&パイクル・ヘルスケアも割高感などから反落しました。

ポートフォリオでは眼鏡・コンタクトレンズのナショナル・ビジョンの全売却、補聴器のソノバの組入れ半減や、脊椎外科手術機器のニューベイスの全売却、歯科用品のストラウマンとデンツプライ・シロナの一部売却などで、眼科、聴覚機器、整形外科、歯科関連の比率を引き下げました。一方、ダナハーの買い増しなどで診断機器の比率を引き上げ、また、ゲティンゲへの新規投資や、ベクトン・ディッキンソンの買い増しなどによって、メディカルサプライ関連の比率も引き上げました。

### 【今後の見通しと運用方針】

医療テクノロジー企業の長期的な成長見通しは高いものの、当面の売上や利益率の回復ペースや程度に関する懸念を踏まえた銘柄選別が重要であると考えます。当ファンドは、魅力的な新製品を市場投入して利益率の改善が見込まれる大型で多角化した銘柄(アボットラボラトリーズ、ベクトン・ディッキンソン、ボストン・サイエンティフィック、メトロニック、ダナハーなど)を嗜好しており、これらは短期的な逆風に抵抗力があるとみています。特定分野に注力している中小型銘柄に関しては、新しい製品や治療領域への進出で同業他社を上回る売り上げ成長が期待できる銘柄から選別投資する方針です。

## ファンドの目的

主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行います。

## ファンドの特色

- ① アムンディ・次世代医療テクノロジー<sup>®</sup>・マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます)受益証券への投資を通じて、主に先進国の医療テクノロジー関連企業の株式に投資します。  
・ファンドにおける医療テクノロジー関連企業には、医療機器、診療器具、画像装置、医療サービス等が含まれます。
- ② マザーファンドにおいては、個別銘柄選択を重視した運用を行います。  
・マザーファンドにかかる運用指図の権限は、CPRアセットマネジメントに委託します。
- ③ 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 年2回決算(原則として毎年1月および7月の各15日、休業日の場合は翌営業日)を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

### 収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます)等の全額とします。
- ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。したがって、**将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。**
- ・留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

## 投資リスク

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主として株式など値動きのある有価証券(外貨建資産には為替変動リスクがあります)に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません。**ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割込むことがあります。**ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、特定の業種への集中投資リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因(投資リスク)はこれらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還やファミリーファンド方式の留意点、収益分配金に関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

**<お申込みの際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。>**

### 当資料のお取り扱いについてのご注意

■当資料は、法定目論見書の補足資料としてアムンディ・ジャパン株式会社が作成した販売用資料であり、法令等に基づく開示資料ではありません。■当ファンドの購入のお申込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、お受取りの上、内容は投資信託説明書(交付目論見書)で必ずご確認ください。なお、投資に関する最終決定は、ご自身でご判断ください。■当資料は、弊社が信頼する情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性について弊社が保証するものではありません。また、記載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。■当資料に記載されている事項につきましては、作成時点または過去の実績を示したものであり、将来の成果を保証するものではありません。また、運用成果は実際の投資家利回りとは異なります。■投資信託は、元本および分配金が保証されている商品ではありません。■投資信託は値動きのある証券等に投資します。組入れた証券等の値下がり、それらの発行者の信用状況の悪化等の影響による基準価額の下落により損失を被ることがあります。したがって、これら運用により投資信託に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属いたします。■投資信託は預金、保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の保護の対象とはなりません。■投資信託のお申込みに関しては、クーリングオフの適用はありません。

お申込みメモ

購入時	購入単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	購入代金	販売会社が定める期日までにお支払いください。

換金時	換金単位	販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
	換金代金	換金申込受付日から起算して、原則として5営業日目から販売会社においてお支払いします。

申込について	申込受付不可日	以下のいずれかに該当する場合には購入・換金のお申込みを受けません。 ・ユーロネクストの休業日 ・フランスの祝休日 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・米国証券業金融市場協会が定める休業日 ・委託会社が指定する日
	申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
	換金制限	委託会社の判断により、一定の金額を超える換金申込には制限を設ける場合があります。
	申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。

その他	信託期間	2028年7月14日までとします。(設定日:2018年7月31日)
	繰上償還	委託会社は、ファンドの投資信託財産の純資産総額が30億円を下回ることとなったときまたは信託を終了させることが投資者のために有利であると認めるとき、もしくはやむを得ない事情が発生したときは、受託会社と合意のうえ、信託期間を繰上げて信託を終了させることができます。
	決算日	年2回決算、原則として毎年1月および7月の各15日です。休業日の場合は翌営業日とします。
	収益分配	原則として毎決算時に分配方針に基づいて分配を行います。 販売会社によっては分配金の再投資が可能です。
	課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。 配当控除および益金不算入制度は適用されません。

## ファンドの費用

### <投資者が直接的に負担する費用>

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は <b>3.3%(税抜3.0%)</b> です。詳しくは販売会社にお問合せください。
信託財産留保額	ありません。

### <投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用>

運用管理費用 (信託報酬)	<p>信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し<b>年率1.793%(税抜1.63%)</b>を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上されます。</p> <p>毎計算期間末または信託終了のとき、投資信託財産中から支弁します。委託会社がマザーファンドの投資顧問会社に支払う報酬額は、投資信託財産の日々の純資産総額に年率0.80%を上限として乗じて得た金額とし、毎計算期間末または信託終了のとき、委託会社の報酬から支払うものとします。</p> <p>◆上記の運用管理費用(信託報酬)は、有価証券届出書作成日現在のものです。</p>
その他の費用・ 手数料	<p>その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用</li> <li>・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。)</li> <li>・投資信託財産に関する租税 等</li> </ul> <p><b>*その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。</b></p>

◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。

## 委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第350号 加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
受託会社	株式会社 リそな銀行
販売会社	販売会社については巻末をご参照ください。
ファンドに関する 照会先	委託会社の名称:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:0120-202-900(フリーダイヤル) 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス: <a href="https://www.amundi.co.jp/">https://www.amundi.co.jp/</a>

販売会社一覧(業態別・五十音順)

金融商品取引業者等		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人投資信託協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○			○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○			○	
株式会社三菱UFJ銀行(インターネット専用)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)(インターネットトレードのみ)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○			○	○
株式会社みなと銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第22号	○			○	
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○		○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○			○	○
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号	○				
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○		○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○		○	○	○